

(別表－１) 都道府県コード

県コード	県名
01	北海道
02	青森県
03	岩手県
04	宮城県
05	秋田県
06	山形県
07	福島県
08	茨城県
09	栃木県
10	群馬県
11	埼玉県
12	千葉県
13	東京都
14	神奈川県
15	新潟県
16	富山県
17	石川県
18	福井県
19	山梨県
20	長野県
21	岐阜県
22	静岡県
23	愛知県
24	三重県
25	滋賀県
26	京都府
27	大阪府
28	兵庫県
29	奈良県
30	和歌山県
31	鳥取県
32	島根県
33	岡山県
34	広島県
35	山口県
36	徳島県
37	香川県
38	愛媛県
39	高知県
40	福岡県
41	佐賀県
42	長崎県
43	熊本県
44	大分県
45	宮崎県
46	鹿児島県
47	沖縄県

(別表－２) 製品分野分類表（前年度と分類が大幅に変更されている箇所がありますのでご注意ください）

大分類	中分類	小分類	製品分野コード番号
１．食品	酒類	清酒	１１１
		ビール(発泡酒を含む) (※１)	１１２
		洋酒	１１３
		焼酎	１１４
		ワイン	１１５
		アルコール(酒類原料用)	１１６
		その他	１１７
	天然調味料	味噌	１２１
		醤油	１２２
		食酢	１２３
		みりん	１２４
		うま味調味料	１２５
		その他	１２６
	発酵食品	チーズ(※２)	１３１
		ヨーグルト(トクホ除く)(※２)	１３２
		乳酸菌飲料(トクホ除く)(※２)	１３３
		低乳糖牛乳(トクホ除く)(※２)	１３４
		納豆(トクホ除く)(※２)	１３５
		その他	１３６
	油脂類		１４０
	パン・菓子類(従来のパンを含む)		１５０
２．その他の食品 (食品原料)	甘味料	異性化糖	２１１
		オリゴ糖(マルトース、トレハロースを除く)	２１２
		マルトース	２１３
		トレハロース	２１４
		糖アルコール	２１５
		その他	２１６
	ビタミン		２２０
	アミノ酸(グルタミン酸を除く)		２３０
	ペプチド		２４０
	脂肪酸(γ -リノレン酸、DHA、EPA等)		２５０
	有機酸、酸味料(クエン酸、コハク酸等)		２６０
	補酵素等	コエンザイムQ10	２７１
		α -リボ酸	２７２
		その他	２７３
	賦形剤、増粘剤等		２８０
	酵母、麴		２９０
	特殊栄養食品(特定保健用食品を除く)		２Ａ０
	特定保健用食品	オリゴ糖含有食品	２Ｂ１
		乳酸菌含有食品	２Ｂ２
		食物繊維含有食品	２Ｂ３
		油脂	２Ｂ４
		タンパク・ペプチド含有食品	２Ｂ５
		茶飲料	２Ｂ６
		その他	２Ｂ７
(その他の食品)	賦形剤、増粘剤等		２８０
	酵母、麴		２９０
	特殊栄養食品(特定保健用食品を除く)		２Ａ０
	特定保健用食品	オリゴ糖含有食品	２Ｂ１
		乳酸菌含有食品	２Ｂ２
		食物繊維含有食品	２Ｂ３
		油脂	２Ｂ４
		タンパク・ペプチド含有食品	２Ｂ５
		茶飲料	２Ｂ６
		その他	２Ｂ７

(※１) 発泡酒、ビール風味アルコール飲料は「ビール」に含みます。

(※２) 「特定保健用食品」を除きます。「特定保健用食品」に該当するものは「２．その他食品」の「特定保健用食品」の項目に御記入下さい。

大分類	中分類	小分類	製品分野コード番号
2. その他の食品 (前ページから続き)	食品用酵素	タンパク質関連酵素	2 C 1
		糖関連酵素	2 C 2
		その他	2 C 3
	食品検査薬		2 D 0
	その他		2 E 0
3. 農業関連 注) 交配等、従来の育種による種苗、生産物は除きます。	穀物		3 1 0
	花き		3 2 0
	野菜		3 3 0
	キノコ		3 4 0
	種苗	穀物	3 5 1
		花き	3 5 2
		野菜	3 5 3
		その他	3 5 4
	農薬	生物農薬	3 6 1
		誘因物質、忌避物質	3 6 2
		その他	3 6 3
	微生物資材（根瘤菌、菌根菌等）		3 7 0
	植物診断薬		3 8 0
	その他		3 9 0
4. 畜産・水産関連 注) 従来の育種等による品種及び生産物は除きます。	家畜		4 1 0
	魚介類		4 2 0
	ペット		4 3 0
	海藻		4 4 0
	飼料・餌料（従来の飼料を除く）		4 5 0
	飼料・餌料用添加物	アミノ酸	4 6 1
		ビタミン	4 6 2
		抗生物質	4 6 3
		その他	4 6 4
	動物薬	治療薬・ワクチン	4 7 1
		診断薬	4 7 2
		その他	4 7 3
	その他		4 8 0
5. 医薬品・診断薬・医療用具 注) 医薬原料は「8. 化成品」の「工業原料」に御記入下さい。	抗微生物抗生物質	ペニシリン系	5 1 1
		セフェム系	5 1 2
		アミノグリコシド系	5 1 3
		マクロライド系	5 1 4
		テトラサイクリン系	5 1 5
		ホスホマイシン系	5 1 6
		グリコペプチイド系	5 1 7
		その他	5 1 8
	抗がん抗生物質	アンスラサイクリン	5 2 1
		マイトマイシン	5 2 2
		その他	5 2 3
	抗ウィルス薬	インフルエンザ	5 3 1
		H I V	5 3 2
		その他	5 3 3

大分類	中分類	小分類	製品分野コード番号
5. 医薬品・診断薬・医療用具 (前ページから続き) 注) 医薬原料は「8. 化成 品」の「工業原料」に御 記入下さい。	発酵生産物医薬品	HMG-CoA還元酵素阻害薬 (プラバスタチン等)	5 4 1
		タクロリムス	5 4 2
		イノバン	5 4 3
		セラペプターゼ	5 4 4
		消化酵素	5 4 5
		アミノ酸等輸液	5 4 6
		その他	5 4 7
	生体抽出由来医薬品 (植物抽出を含む)	抗体	5 5 1
		ワクチン	5 5 2
		ヒアルロン酸含有医薬品	5 5 3
		アルブミン含有医薬品	5 5 4
		コンドロイチン含有医薬品	5 5 5
		(プロ) ウロキナーゼ	5 5 6
		ウシ肝臓水解物	5 5 7
		その他	5 5 8
	酵素変換利用医薬品	ジルチアゼム	5 6 1
		その他	5 6 2
	遺伝子組換え医薬品	エリスロポエチン	5 7 1
		ヒト成長ホルモン	5 7 2
		顆粒球コロニー刺激因子	5 7 3
		ヒト・インスリン	5 7 4
		インターフェロン (α 、 β)	5 7 5
		血液凝固第Ⅷ・Ⅸ因子	5 7 6
		グルカゴン	5 7 7
		T P A	5 7 8
		インターロイキン	5 7 9
		ナトリウム利尿ペプチド	5 7 A
		B型肝炎ワクチン	5 7 B
		インターフェロン γ	5 7 C
		インスリン様成長因子 I	5 7 D
		その他	5 7 E
	抗体医薬品	ハーセプチン	5 8 1
		リツキサン	5 8 2
		その他	5 8 3
	遺伝子医薬品 (遺伝子治療等)		5 9 0
	上記以外の医薬品		5 A 0
	診断・診断薬	診断薬用酵素	5 B 1
		DNAプローブ	5 B 2
		モノクローナル抗体診断薬	5 B 3
		遺伝子増幅法 (P C R 法等)	5 B 4
		組換え抗原	5 B 5
		その他	5 B 6
	医療用具		5 C 0
	その他		5 D 0

大分類	中分類	小分類	製品分野コード番号
6. 研究用試料・試薬	研究用試料・試薬	遺伝子工学試薬	6 1 1
		タンパク質工学試薬	6 1 2
		糖鎖工学試薬	6 1 3
		細胞関連試薬	6 1 4
		その他	6 1 5
	生体試料	実験動物（薬効・薬理の動物試験を除く）	6 2 1
		カルチャーコレクション	6 2 2
		その他	6 2 3
	その他		6 3 0
7. 繊維・繊維加工	素材（木綿、セルロース等）		7 1 0
	染料		7 2 0
	加工用酵素		7 3 0
	その他		7 4 0
8. 化成品	バイオ化粧品	ヒアルロン酸含有化粧品	8 1 1
		コエンザイム含有化粧品	8 1 2
		その他	8 1 3
	香料		8 2 0
	洗剤		8 3 0
	工業原料	有機酸（アミノ酸、核酸を除く）	8 4 1
		アミノ酸	8 4 2
		核酸	8 4 3
		酵素	8 4 4
		アクリルアミド	8 4 5
		アルコール（酒類以外原料）	8 4 6
		ヒアルロン酸	8 4 7
		アルプチン	8 4 8
		コンドロイチン	8 4 9
		上記以外の医薬中間体	8 4 A
		その他	8 4 B
	生分解性プラスチック	ポリ乳酸樹脂	8 5 1
		石油系樹脂	8 5 2
		その他	8 5 3
	その他		8 6 0
9. バイオエレクトロニクス	センサー	食品分析用センサー	9 1 1
		医療用センサー	9 1 2
		環境計測用センサー	9 1 3
		その他	9 1 4
	その他		9 2 0
10. 環境関連機器設備	水処理関係	活性汚泥法	A 1 1
		生物膜法	A 1 2
		膜式活性汚泥法	A 1 3
		河川・湖沼浄化システム	A 1 4
		鉱山廃水処理	A 1 5
		窒素・りん除去	A 1 6
		嫌気性流動床	A 1 7

大分類	中分類	小分類	製品分野コード番号
10. 環境関連機器設備 (前ページから続き)		嫌気性固定床	A 1 8
		浄化槽	A 1 9
		微生物製剤	A 1 A
		その他	A 1 B
	空気処理関係	V O C 除去	A 2 1
		脱臭	A 2 2
		脱硝	A 2 3
		その他	A 2 4
	固形物関係	生ゴミコンポスト化装置	A 3 1
		その他固形物コンポスト化装置	A 3 2
		好気性消化 (汚泥処理)	A 3 3
		嫌気性消化 (汚泥処理)	A 3 4
		その他	A 3 5
	土壌関係 (※ 3)	バ イ オ ス テ ィ ム ュ レ シ ョ ン on-site 処理	A 4 1
		バ イ オ ス テ ィ ム ュ レ シ ョ ン in-site 処理	A 4 2
		バ イ オ オ ー グ メ ン テ ー シ ョ ン on-site 処理	A 4 3
		バ イ オ オ ー グ メ ン テ ー シ ョ ン in-site 処理	A 4 4
		その他	A 4 5
	その他		A 5 0
11. 研究・生産用機器設備	発酵・分離精製設備		B 1 0
	クリーンベンチ		B 2 0
	クリーンルーム		B 3 0
	シーケンサー	D N A	B 4 1
		その他	B 4 2
	合成機	D N A (P C R 装置等)	B 5 1
		ペプチド	B 5 2
		その他	B 5 3
	遺伝子導入装置		B 6 0
	遺伝子機能解析装置 (D N A チップ等)		B 7 0
	アイソトープ関連		B 8 0
	質量分析装置		B 9 0
	NMR		B A 0
	物理的封じ込め装置	P 1、P 2、P 3	B B 1
		その他	B B 2
	その他		B C 0
12. その他の製品	皮革処理用酵素		C 1 0
	医療関連材料	生体適合材料	C 2 1
		人工臓器用材料	C 2 2
		その他	C 2 3
	バイオマス (メタン発酵ガス等)		C 3 0
	バイオパルプ		C 4 0
	その他		C 5 0

(※ 3) バイオスティミュレーションとは汚染地内に存在し汚染物質を浄化する能力のある微生物等の活性化することで浄化を進める技術をいう。バイオオーグメンテーションとは汚染物質の浄化活性の高い微生物などを外部から注入し、浄化効率を高める技術をいう。

大分類	中分類	小分類	製品分野コード番号
13. 情報処理	ハードウェア	スーパーコンピュータ・汎用機	D 1 1
		ワークステーション	D 1 2
		パソコン	D 1 3
		その他	D 1 4
	ソフトウェア	解析ソフトウェア	D 2 1
		データベース	D 2 2
		その他	D 2 3
	サービス	情報検索サービス	D 3 1
		解析サービス	D 3 2
		教育サービス	D 3 3
		その他	D 3 4
	その他		D 4 0
14. サービス 注) 技術支援を含みます。	検査	医療診断検査	E 1 1
		遺伝子診断検査	E 1 2
		その他	E 1 3
	その他	分析サービス	E 2 1
		実験・試験	E 2 2
		DNA合成	E 2 3
		ペプチド合成	E 2 4
		排水処理	E 2 5
		バイオレメディエーション	E 2 6
		その他	E 2 7

(別表－３) 平成２２年度（５年後）の国内生産出荷額予測

	平成１７年度の実績に対し	
A	増加する	(１５０％～)
B	やや増加する	(１１０～１４９％)
C	変わらない	(９０～１１０％)
D	やや減少する	(５０～８９％)
E	減少する	(０～４９％)

(別表－４) 主な利用技術

①	・従来型の発酵技術、培養技術、変異処理技術等		
②	・細胞融合技術 ・組織培養技術	・動植物細胞培養技術 ・動物クローン技術	・染色体操作技術
③	・組換えDNA技術		
④	・固定化等特殊な培養技術（バイオリアクター等）		
⑤	・従来型の生物による環境汚染処理技術 （活性汚泥処理、メタン発酵、コンポスト化処理等）		
⑥	・生体模倣技術（生体材料等） ・生物学的な知識を利用した電子機器（センサー等）、解析機器、ソフト等の利用		

(別表－５) 主な製品等のカテゴリー

ア	自社で、バイオテクノロジーを利用して生産し、最終製品として出荷した製品
イ	自社で、バイオテクノロジーを利用して生産し、原料として出荷した製品
ウ	バイオテクノロジーを利用して製造された生産物を購入し、加工した上、販売・出荷した製品
エ	バイオテクノロジーを利用した過程・工程をアウトソーシングした製品
オ	その他

(別表－6) 海外生産の増加理由について

あ	国内の顧客への商品供給のため、国内生産を減らし、海外生産を増やす（海外への生産のシフト）
い	国内の顧客への商品供給のため、国内生産を維持し、海外生産を増やす
う	国内の顧客への商品供給のため、海外への生産のアウトソーシングを増やす
え	海外市場の顧客への商品供給のため、海外生産を増やす
お	その他